

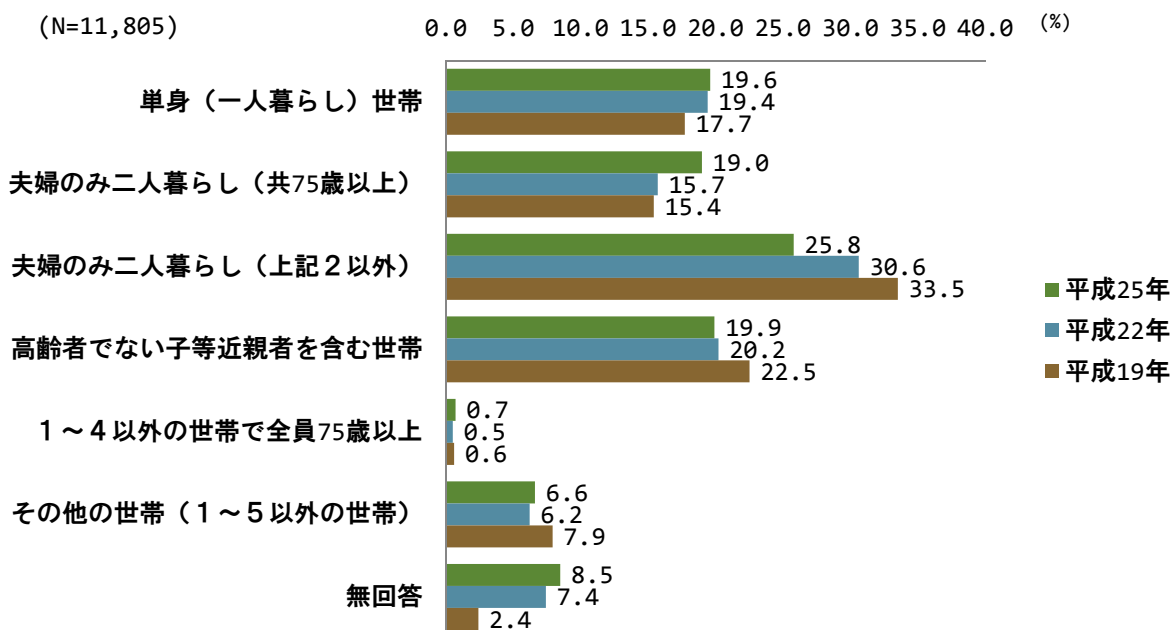
## 第6期神戸市介護保険事業計画策定に向けた実態調査結果報告詳細

### (高齢者一般調査)

1

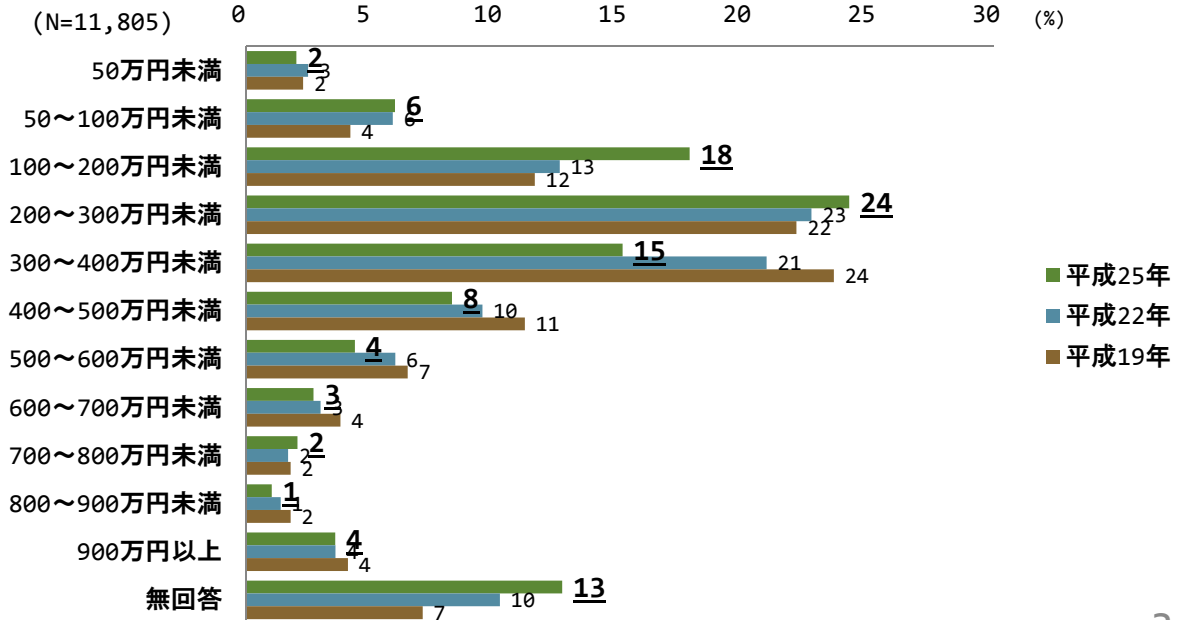
# 家族構成

「単身(一人暮らし)世帯」が19.6%(19.4%)、「ともに75歳以上の夫婦のみ二人暮らし世帯」が19.0%(15.7%)を占め、両世帯とも増加してきている。



# 世帯の収入

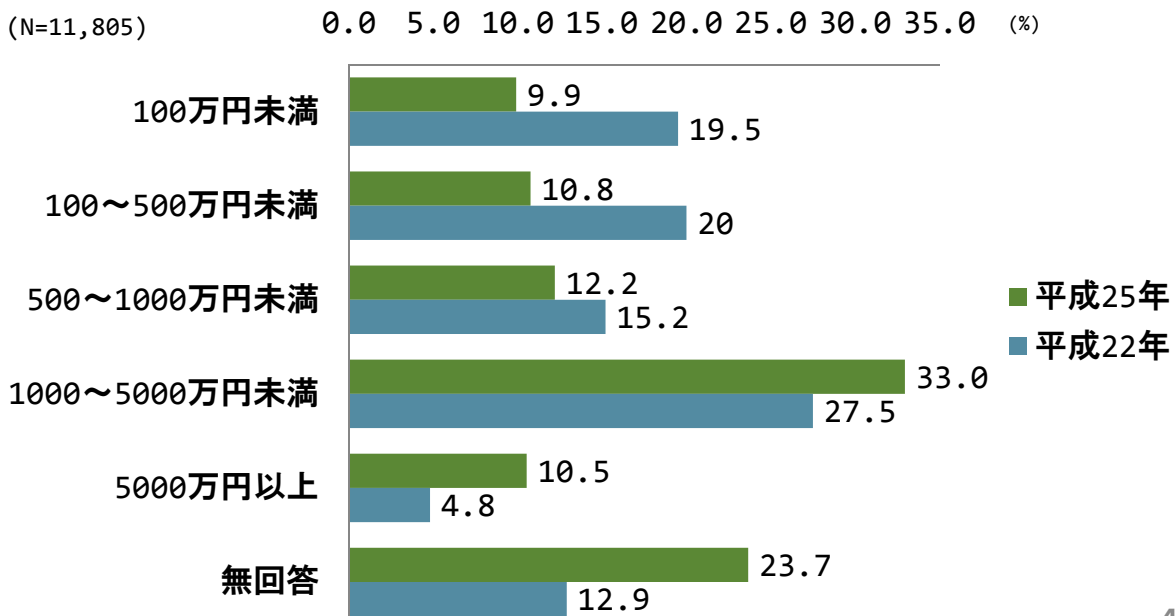
増減が顕著なのは、100～200万円未満<前回比+5ポイント増加>、200～300万円未満<前回比+1ポイント増加>、300～400万円未満<前回比△6ポイント減少>。400万円以上はおおむね減少。



3

# 世帯の資産

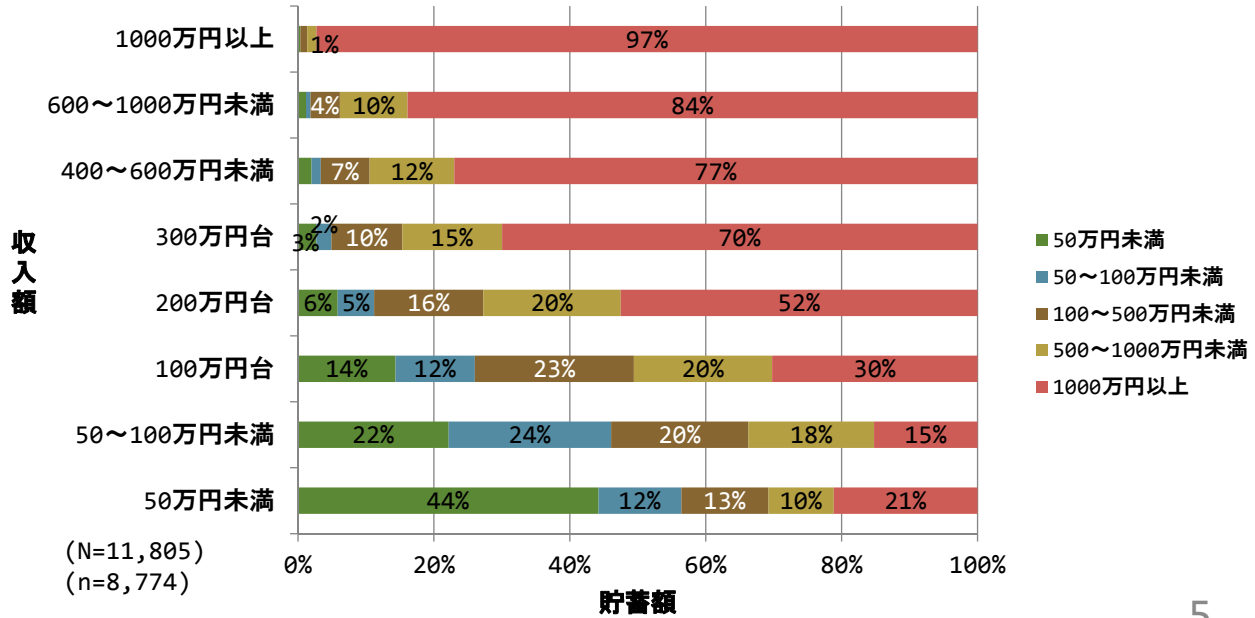
1000万円未満は減少し、1000万円以上は増加している。



4

# 収入／貯蓄額

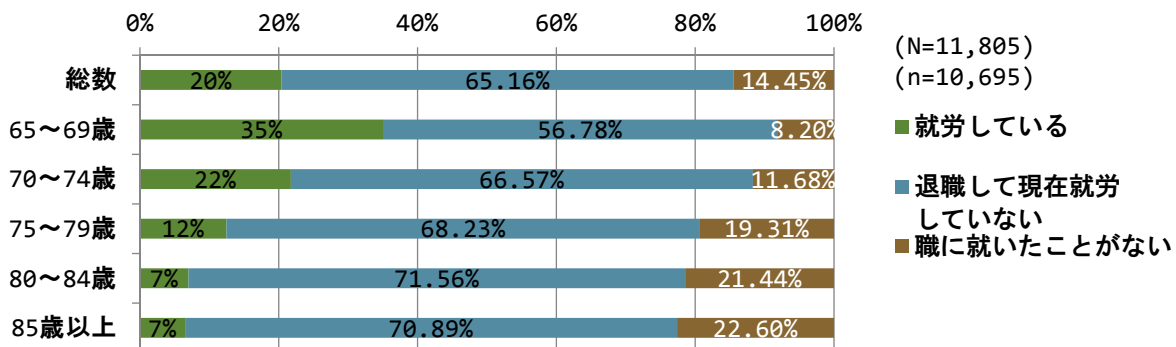
貯蓄額1000万円以上は、世帯収入100万円未満では15～21%、世帯収入200万円台以上では半数以上となっている。



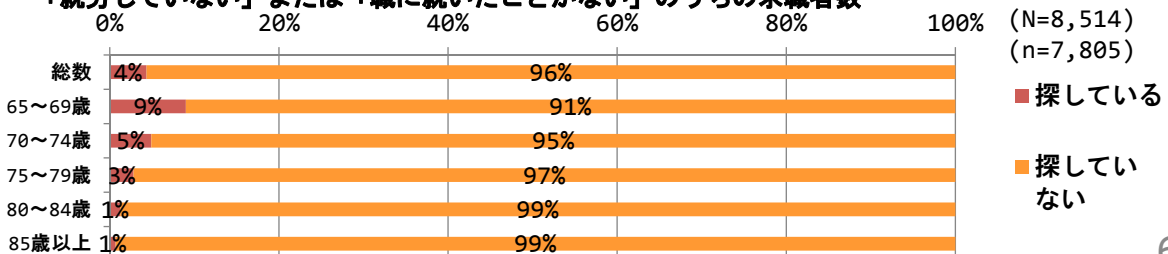
5

# 就労状況

65～69歳は、35%が就労。年齢上昇とともに就労率は下がる。  
75歳以上では約2割が就労未経験。  
「就労していない」または「職に就いたことがない」との回答者は9割以上が求職していない。



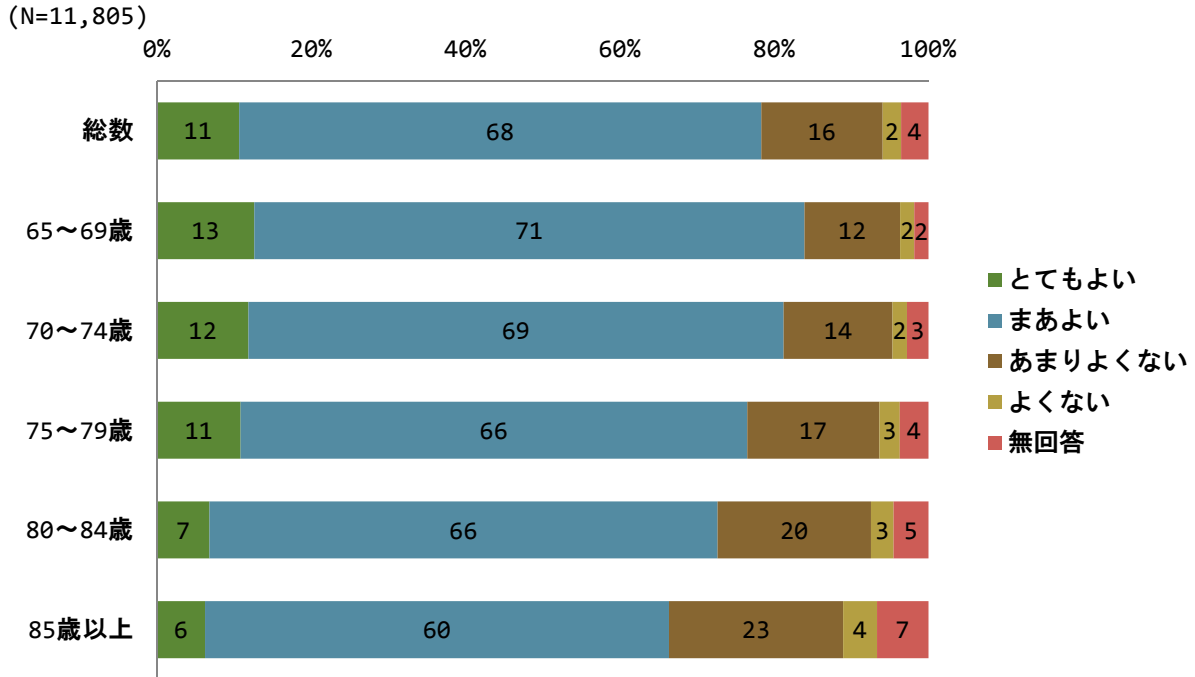
「就労していない」または「職に就いたことがない」のうちの求職者数



6

# 健康状況

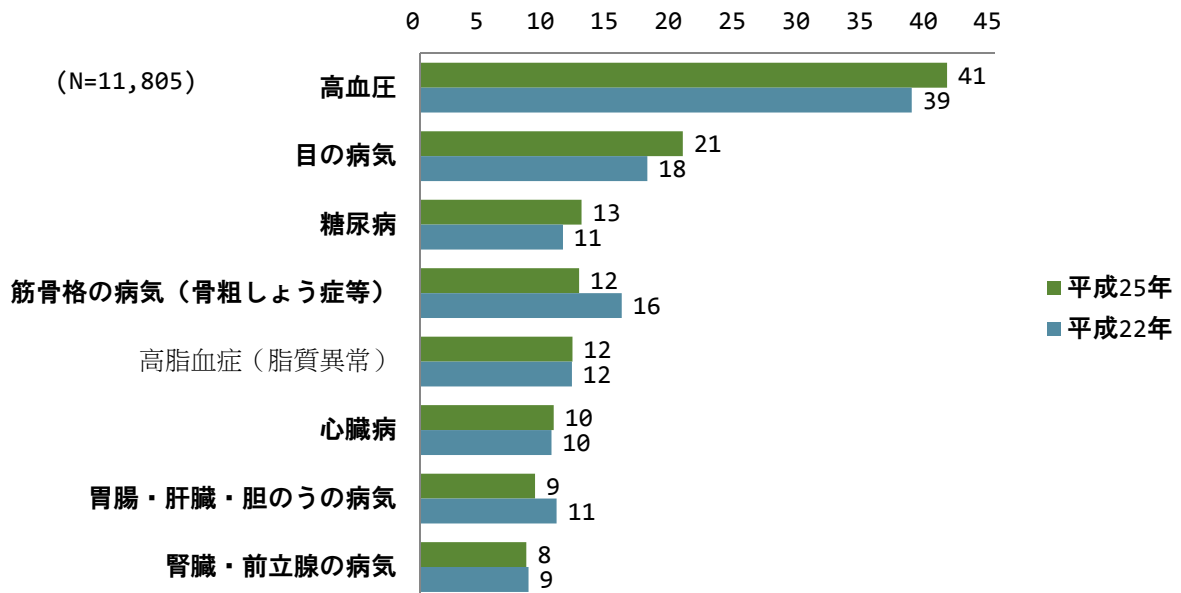
健康状況が「とてもよい」「まあよい」と回答した人は約8割。



7

# 罹患の状況

多いものとして、「高血圧」41%、「目の病気」21%、「糖尿病」13%、「筋骨格の病気」12%、「高脂血症」12%など。

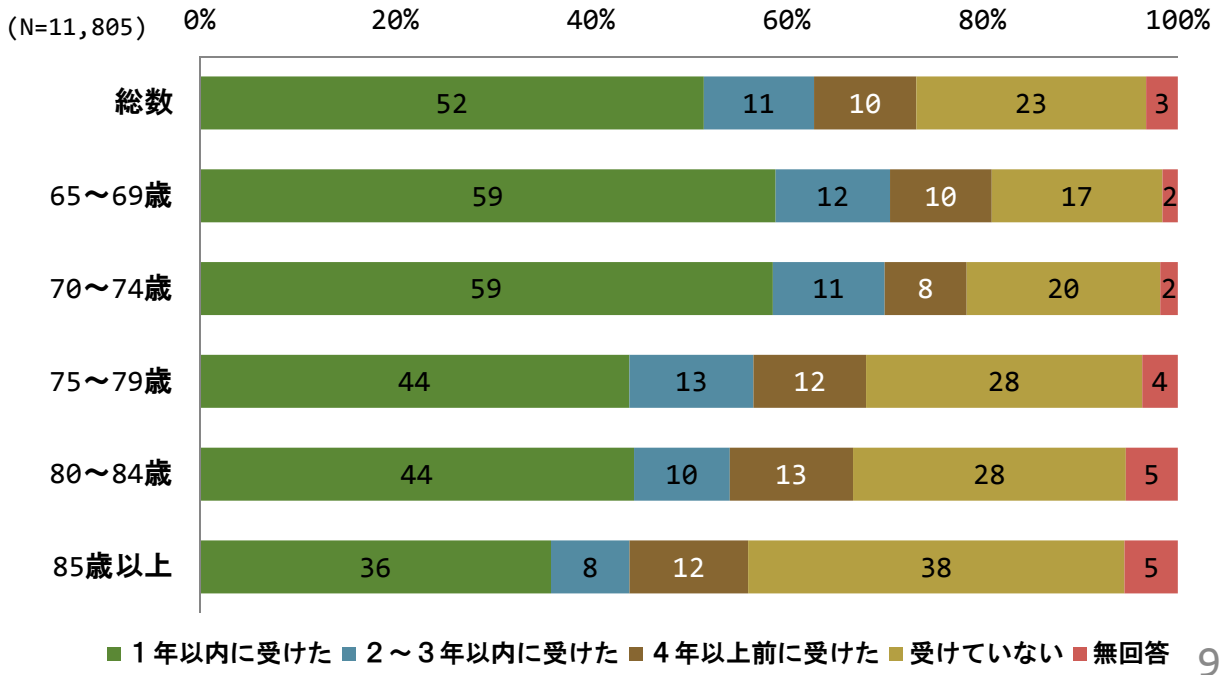


4

8

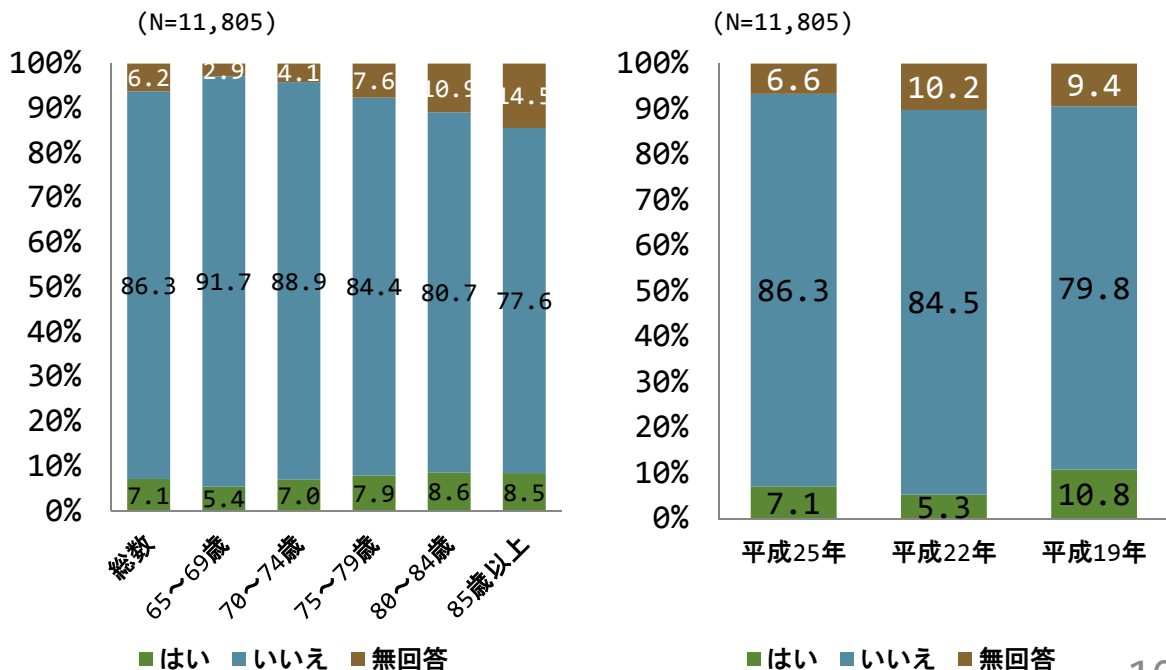
# 健診・人間ドッグの受診状況

約半数が1年以内に受診している。75歳以上になると受診の頻度が減少する傾向。



# 在宅医療の利用状況

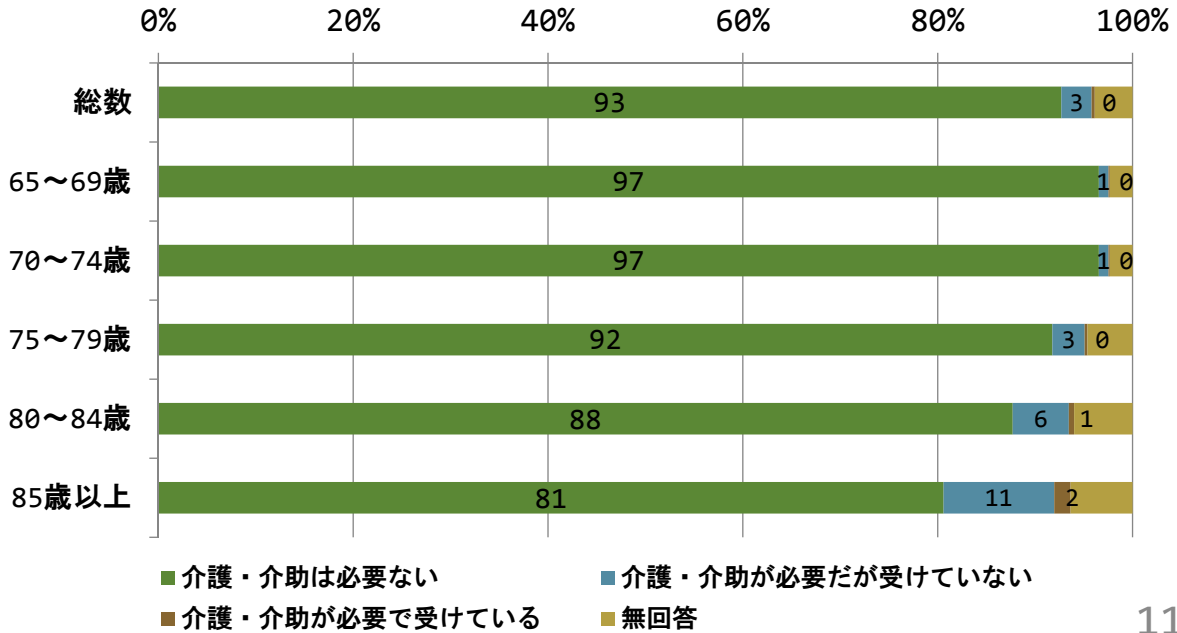
在宅医療の受診は7～8%程度となっている。75歳以上になると受診する割合が少し高くなっている。



# 身体状況

9割が「介護・介助は必要ない」と回答。  
85歳以上では「介護・介助が必要だが受けていない」との回答が11%となっている。

(N=11,805)

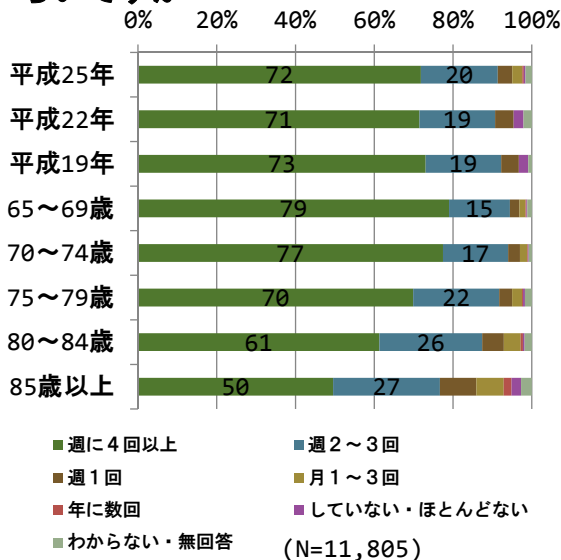


11

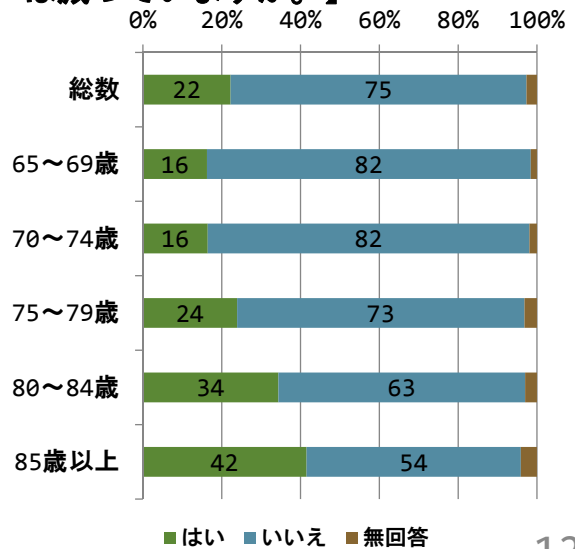
# 外出の頻度

75歳以上から「週に4回以上」の外出の頻度が減少。  
「昨年と比べて外出回数が減っている」との回答は65～74歳までで16%、85歳以上では42%となっている。

## 1) あなたが外出する頻度はどのくらいですか



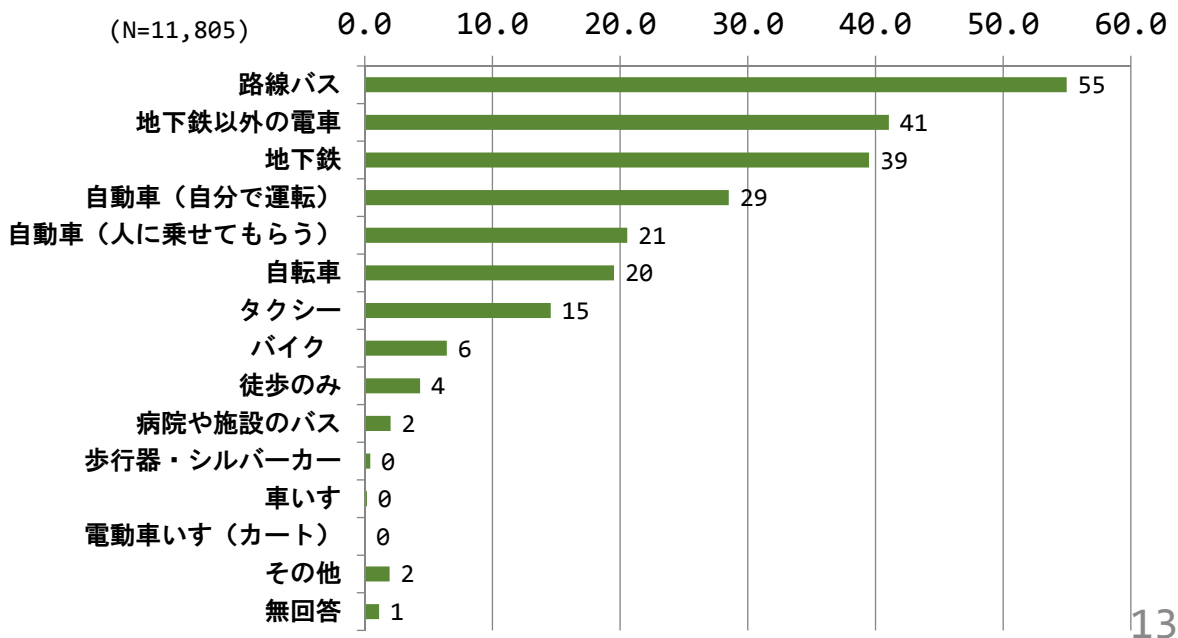
## 【問3-2）昨年と比べて外出の回数は減っていますか。】



12

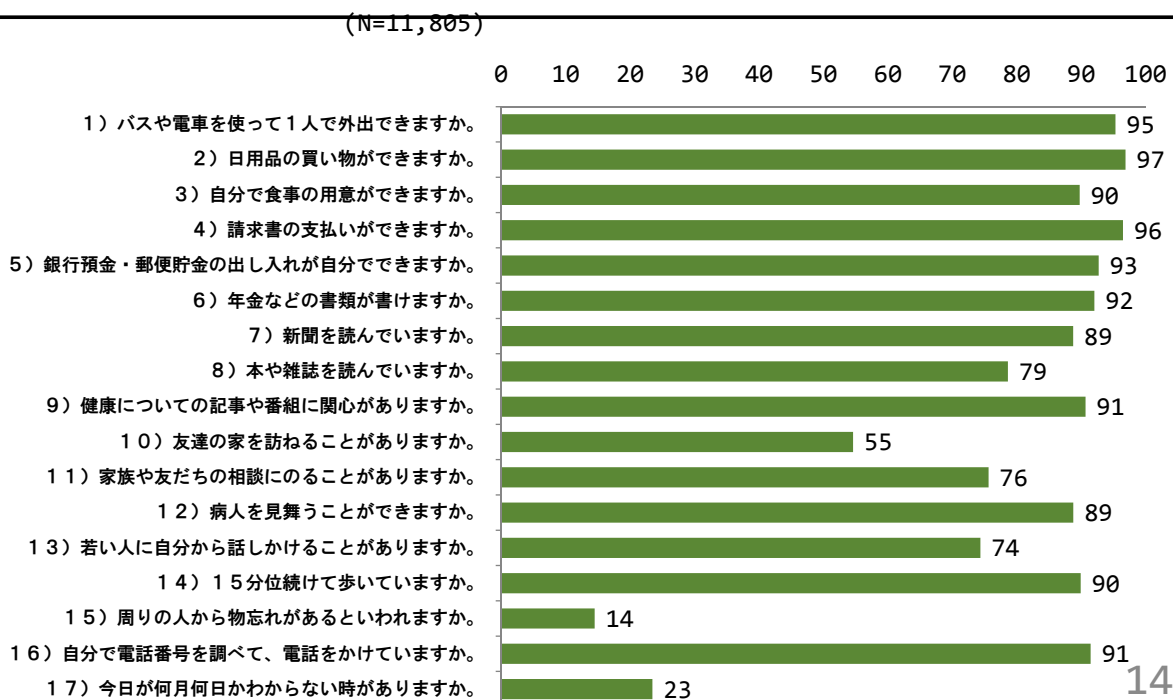
# 外出時の交通手段

外出時の交通手段として多いものは、「路線バス」55%、「電車」41%、「地下鉄」39%など公共交通機関の利用が多い。



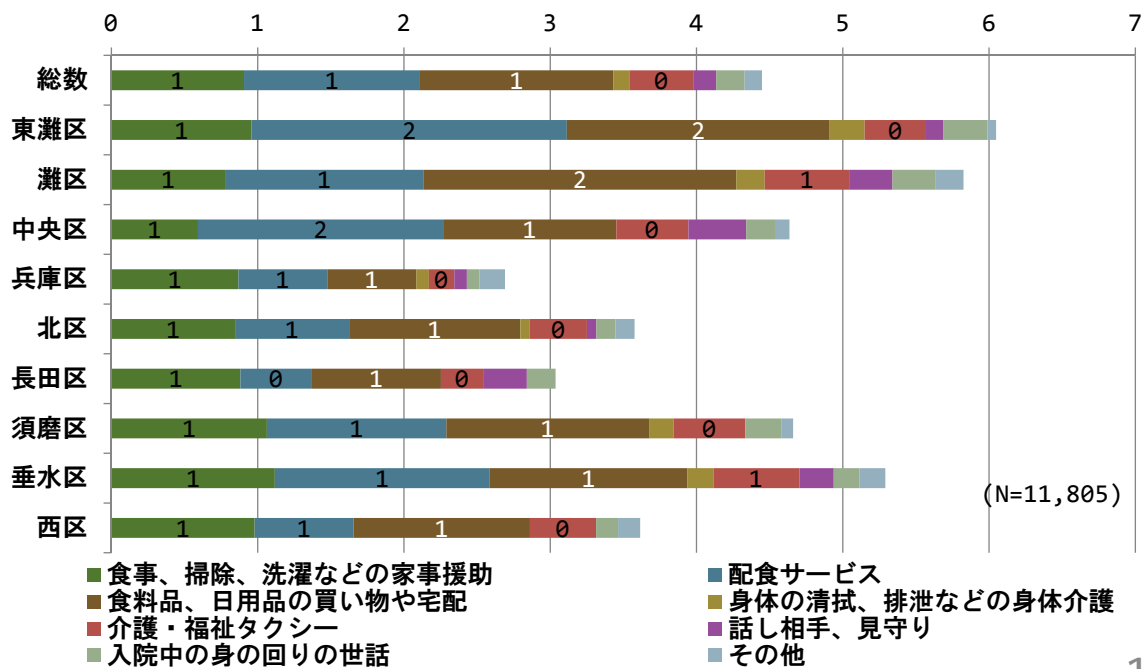
# 日常生活について

「友達の家を訪ねることがありますか。」について「ある」との回答が55%となっている。



# インフォーマルサービスの利用

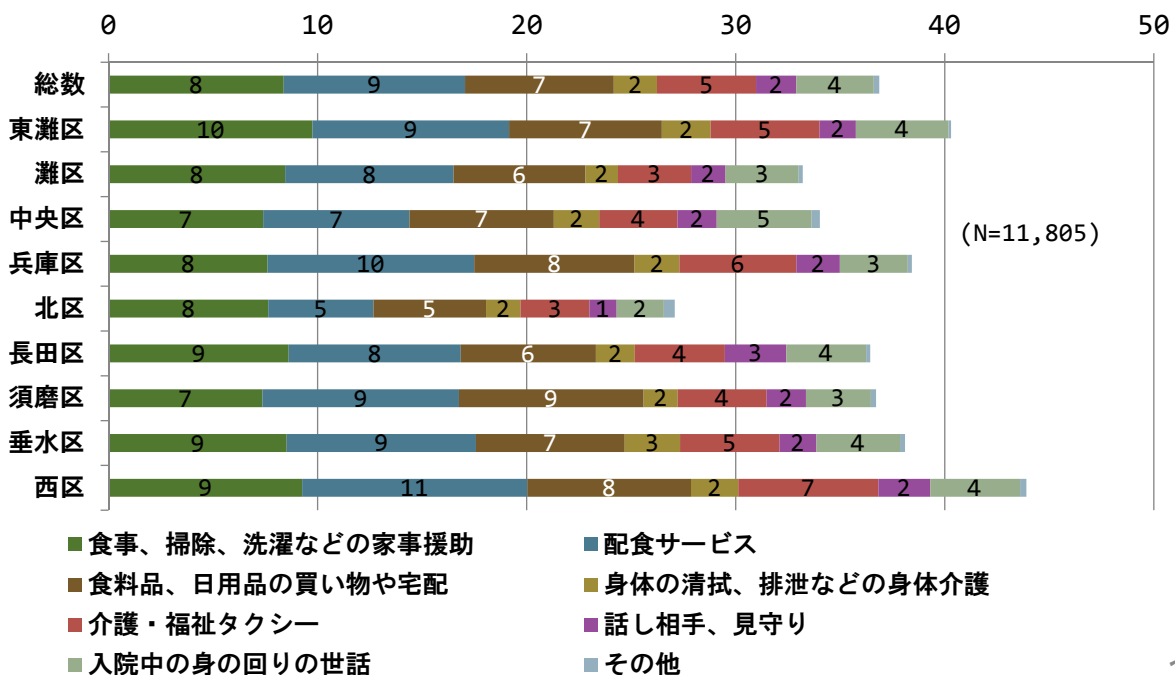
「配食サービス」1%、「食料品、日用品の買い物や宅配」1%、「食事、掃除、洗濯などの家事援助」1%などとなっている。



15

# インフォーマルサービスの利用意向

「配食サービス」9%、「食事、掃除、洗濯などの家事援助」8%、「食料品、日用品の買い物や宅配」7%、「介護・福祉タクシー」5%などとなっている。

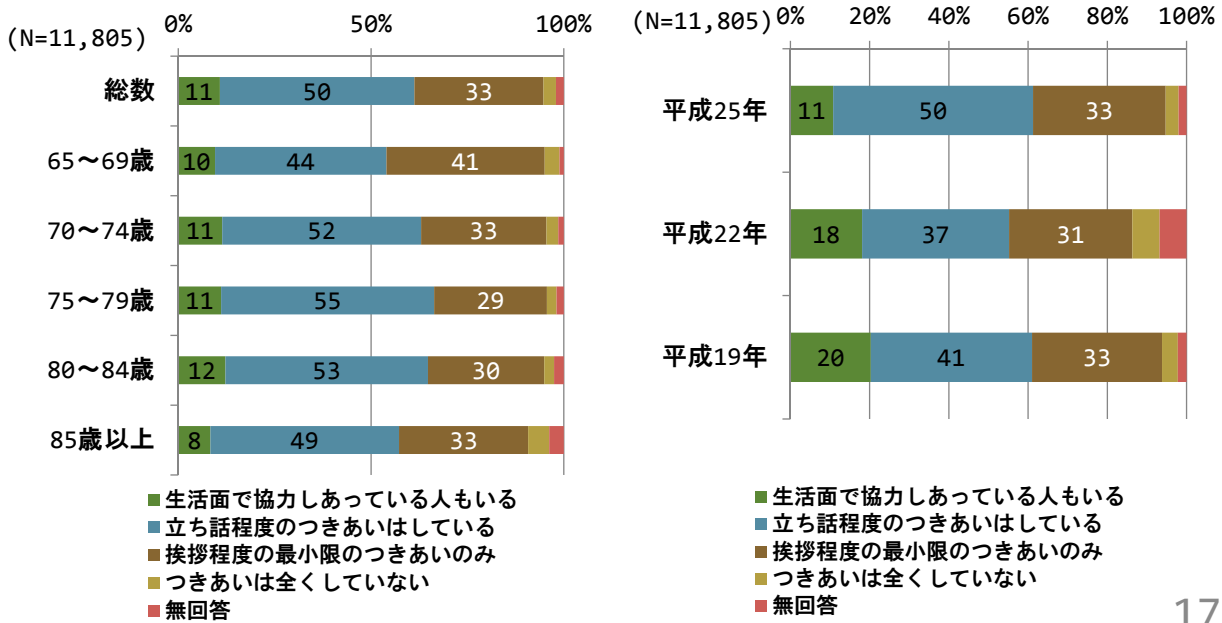


16



# 近所づきあい

近所の人とのつきあいの程度については、「立ち話をする程度の人がいる」が50% (37%)と最も多く、次いで「挨拶をする程度の人がいる」33% (31%)、「生活面で協力しあっている」11% (18%)となっており、平成19年調査以来、全体的に近所の人とのつきあいに関し、質の変化がみられる。

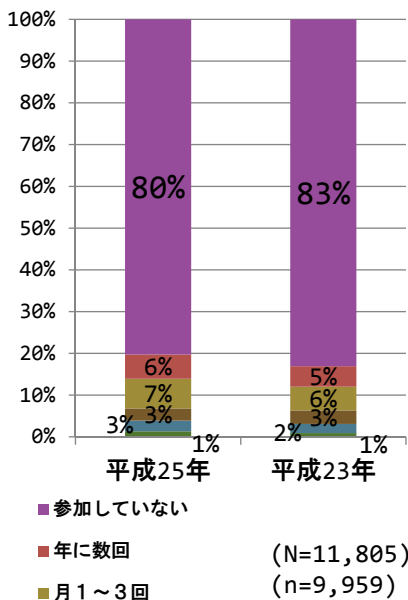


17

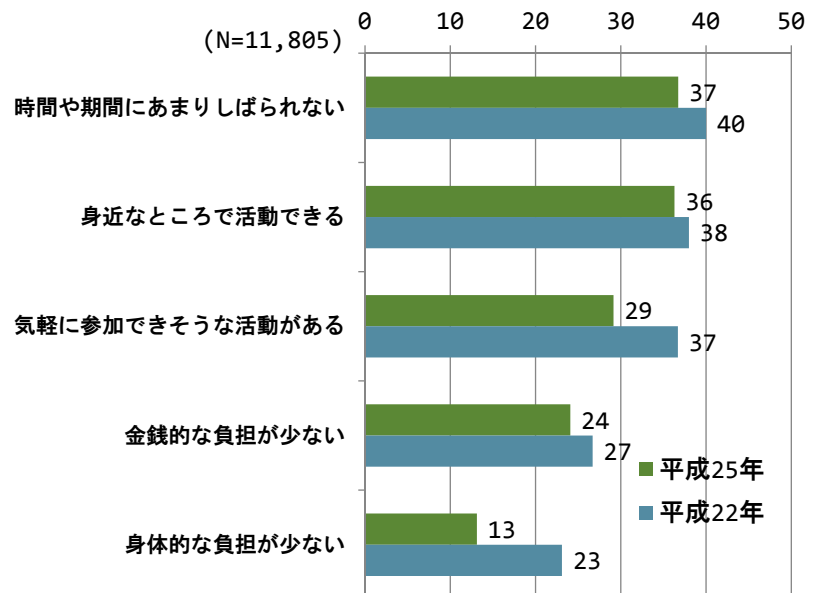
# ボランティア参加頻度・条件

ボランティアに参加している人は、平成23年度調査よりも少し増加(17%→20%)している。ボランティアの参加条件としては、「時間や期間にあまりしぼられない」37%(40%)、「身近なところで活動できる」36%(38%)、「気軽に参加できそうな活動がある」29%(37%)などが多い。

ボランティアグループへの参加頻度



ボランティア活動への参加条件

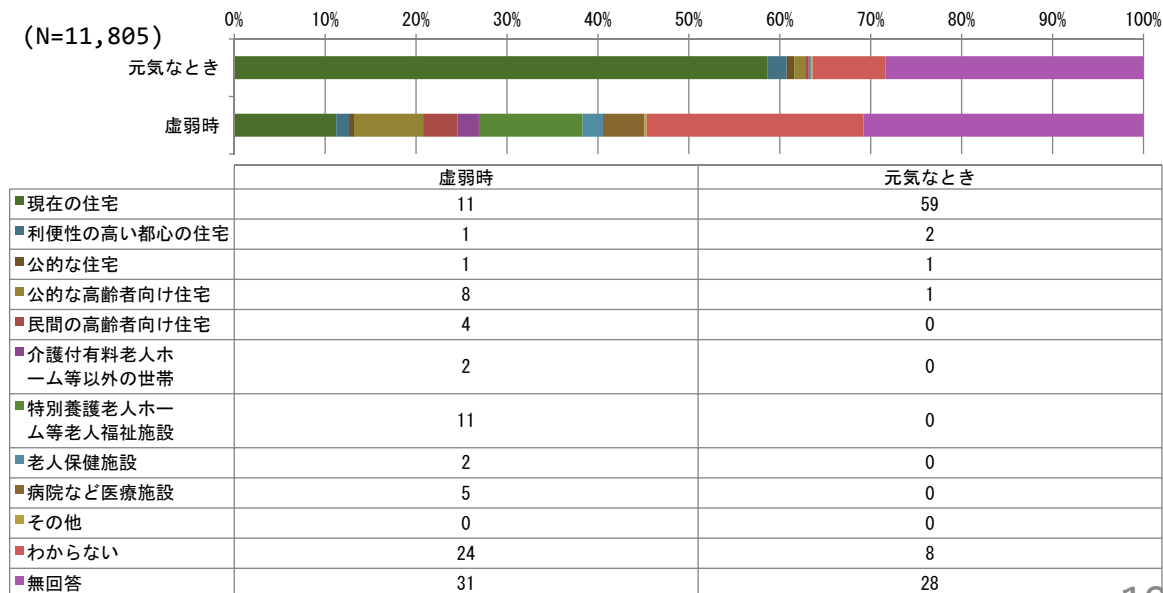


18

# 住まいの希望

「お元気なとき」では、「現在の住宅」が59%と最も多く、次いで「利便性の高い都心の住宅」2%、「公的な高齢者向け住宅」1%などとなっている。

「身体が虚弱化したときなど介護が必要になった場合」については、「特別養護老人ホームなどの老人福祉施設」11%、「現在の住宅」が11%、「公的な高齢者向け住宅」8%などとなっている。また、「わからない」が24%となっている。

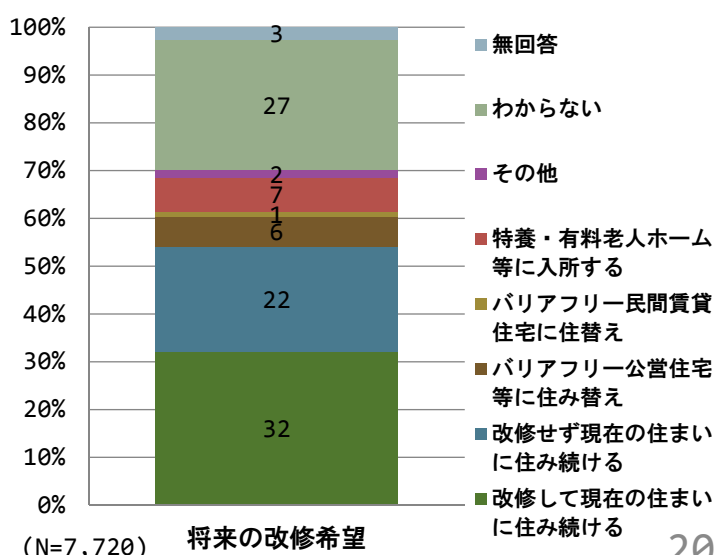
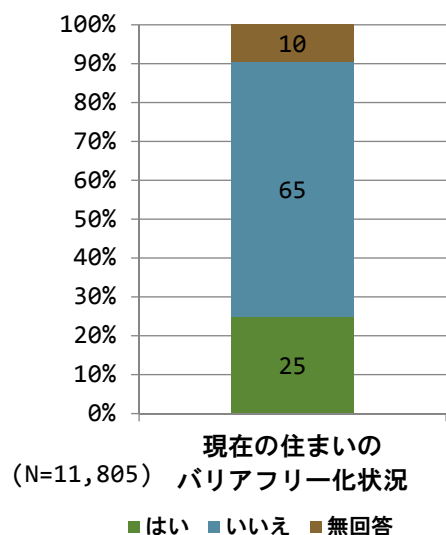


19

# 住まいのバリアフリー化

現在の住まいのバリアフリー化が十分かどうかについて、「はい」が25%、「いいえ」が65%となっている。

現在のバリアフリー化が十分かどうかについて「いいえ」と回答した方[65%]に今後どのようにしたいかたずねたところ、「住宅改修をして現在の住まいに住み続ける」が32%と最も多く、「改修せず現在の住まいに住み続ける」が22%などとなっている。また、「分からない」との回答が27%となっている。



20

# 保険料の負担感

「高い」「やや高い」の計は58%(59%)、「妥当」は26%(25%)、「安い」「やや安い」の計は2%(2%)となっている。

